

臨床研究の名称	間質性肺疾患における肺高血圧症の統合画像評価：CT 定量による RHC-confirmed PH 予測、予後層別化、4D flow MRI 解析
研究責任者の所属・氏名	放射線科 医長 松下 彰一郎
研究の概要	【目的】 肺高血圧症は主に右心カテーテル検査によって診断されますが、患者さんの状態や施設の設備等の理由により実施が困難なことがあります。そのため、非侵襲的検査（CT や心エコー等）による事前の予測が重要になっています。 本研究は、すでに右心カテーテル検査で肺高血圧症が確認されている間質性肺疾患患者さんにおいて、CT 定量画像指標で肺高血圧症を予測できるか検討します。また、CT 定量画像指標でその後の臨床経過をグループ化して予測できるかについても検討します。 【対象患者】 当センターで間質性肺疾患と診断または疑われた方のうち、2016 年 1 月から 2026 年 6 月までに右心カテーテル検査、胸部 CT、呼吸機能検査、心エコー検査を受けた患者さんを対象とします。 【方法】 診療録および画像データから、下記の情報を収集し、肺高血圧症の有無および予後との関連を解析します。血液の流れを詳しく調べる特殊な MRI 検査（4D flow MRI）が撮影されている場合は、肺動脈血流指標との関連も探索的に検討します。新たな検査や来院は必要ありません。 【使用する情報】 年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、酸素療法、診断名、治療内容、胸部 CT 画像、呼吸機能検査、心エコー、右心カテーテル検査、4D flow MRI、入院、急性増悪、予後、肺移植、酸素需要、PH 治療導入等の臨床情報。 【使用の開始予定日】 2026 年 6 月開始予定
問い合わせ先	放射線科 医長 松下 彰一郎 〒236-0051 横浜市金沢区富岡東 6-16-1

	神奈川県立循環器呼吸器病センター 電話番号 045-701-9581 (代表)
--	--

2026 年 5 月作成

- ※ 研究に情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益を生じることはありません。上記の問い合わせ先までご連絡いただけましたら、その方の情報は本研究に利用しないようにいたします。
- ※ 問い合わせ先の担当者が不在の場合は、臨床研究室にお問い合わせください。